



9 大学の国際化など「大学のまち京都・学生のまち京都」推進のための環境整備

(法務省, 文部科学省)

国際的な大学間競争や国内における少子高齢化が進む中、各大学における更なる国際化の促進や地域の活力向上を図るという観点から、留学生誘致・受入環境の整備に対する取組を一層強化することが求められています。また、近年の学生が置かれている経済的状況を踏まえ、学生が安心して学べる環境整備を更に推進していく必要があることから、次のとおり求めます。

提案・要望事項

- (1) 大学や民間による留学生宿舍整備に対する財政支援制度の創設
- (2) 従事可能職務制限の緩和など留学生に対する就労支援
- (3) 大学等奨学金事業及び国立大学・私立大学の授業料減免等の充実



留学生宿舎整備に対する財政支援

平成23年度以降、国全体の留学生数が横ばいの状況にある中でも、本市では着実に増加しているが、留学生30万人計画の達成に向けては、更なる受入環境の整備が必要

大学や民間による留学生宿舎整備に対する財政支援制度の創設を

留学生に対する就労支援

大学・大学院等を卒業・修了する年間約4万人の留学生のうち、日本国内での就職者は1/4にとどまる

就労ビザへの変更及び留学生の採用には、従事内容と大学等の専攻科目との「関連性」及び従事内容の「専門性」が求められ、レストラン等での接客業務などは不許可となる場合が多く、雇用主が積極的に採用を検討しにくい

従事可能職務制限の緩和や基準の明確化による
留学生に対する就労支援を

大学等奨学金事業等の充実

近年の社会情勢から、奨学金を受給する学生の割合は年々増加（学部学生：H14 31.2%→H24 52.5%）しており、学生が安心して学べる環境づくりが必要

無利子奨学金の大幅な拡大や国立大学・私立大学の授業料減免等の充実を

